

松江工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	日本語 5	
科目基礎情報							
科目番号	0042		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	〔教科書〕村上春樹『羊をめぐる冒険 上・下』（中公文庫）〔参考書〕『増補改訂 新訂総合 国語便覧』第一学習社（継続）※適宜プリント等を配布 『チャレンジ常用漢字』第一学習社（継続）						
担当教員	大西 永昭						
到達目標							
① 人物関係、登場人物の言動が理解できる。 ② 本文の内容の概要を説明できる。 ③ 作品の人間観・人生観を把握できる。 ④ 近代以降の文化史の流れの中に自分たちが生きる時代の文化を位置づけて把握することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		文字言語を用いて表現するための正確な言語知識を十分に持っている。		文字言語を用いて表現するための正確な言語知識を持っている。		文字言語を用いて表現するための正確な言語知識を持っていない。	
評価項目2		音声言語を用いて表現するための正確な言語知識を十分持っている。		音声言語を用いて表現するための正確な言語知識を持っている。		音声言語を用いて表現するための正確な言語知識を持っていない。	
評価項目3		言語文化とその歴史に関する、正確な知識とそれを応用することが十分に出来る。		言語文化とその歴史に関する、正確な知識とそれを応用することが出来る。		言語文化とその歴史に関する、正確な知識とそれを応用することが出来ない。	
評価項目4		小説を読み切ることにより、読書の醍醐味、文学の楽しみを体感することが十分にできる。		小説を読み切ることにより、読書の醍醐味、文学の楽しみを体感することができる。		小説を読み切ることにより、読書の醍醐味、文学の楽しみを体感することができない。	
評価項目5		小説の持つ世界観を理解し、自己の世界観・人間観を振り返ることが十分に出来る。		小説の持つ世界観を理解し、自己の世界観・人間観を振り返ることができる。		小説の持つ世界観を理解し、自己の世界観・人間観を振り返ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 G1							
教育方法等							
概要		日本語の授業においては、「対話力」を高めることを最終目標とする。 「対話力」を高めるため、次の5点の向上を目指す。 1. 文章を読んでその内容を正確に把握し、要約できる能力 2. 話を聞いてその内容を正確に把握し、要約できる能力 3. 文字言語を用いて、伝えるべき内容を的確に表現できる能力 4. 音声言語を用いて、伝えるべき内容を的確に表現できる能力 5. 言語文化とその歴史に関する、正確な知識とそれを応用する力 この授業では、特に次の点を目標とする。 （1）小説を読み切ることにより、読書の醍醐味、文学の楽しみを体感する （2）小説の持つ世界観を理解し、自己の世界観・人間観を振り返る					
授業の進め方・方法		予習：次に学習する章を読んでおく。わからない言葉は調べておく。 授業：教員の説明を理解することを最優先し、プリントをよく読む。説明を受けてもわからないことは質問する。 復習：授業中埋めることができなかったプリントの空欄を埋め、あらすじと登場人物のおおまかな言動を確認しておく。					
注意点		目標の全般を定期試験（80％）で評価するとともに、漢字テスト（10％）と授業への参加（10％）を加えて、50点以上（100点満点）を合格とする。再評価試験は実施するが、漢字テストが不合格（10点満点中4点以下）だった場合、速やかに再試験を受け、合格しないかぎり、その対象としない。また、春休み課題の未提出は成績から減点する。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス／日本近世文学史 ～小説は何处から来たか？		近世の小説とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		2週	日本近代文学史①明治文学Ⅰ ～なぜ学校で小説を教えるのか？ 第25回漢字テスト（p98、p99）		明治期の文学とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		3週	日本近代文学史②明治文学Ⅱ ～なぜ小説は恋愛を描くのか？ 第26回漢字テスト（p100、p101）		明治期の文学とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		4週	日本近代文学史③大正文学 ～なぜ小説家はセレブなのか？ 第27回漢字テスト（p102、p103）		大正期の文学とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		5週	日本近代文学史④1920～30年代の文学 ～小説に「正しさ」は必要か？ 第28回漢字テスト（p104、p105）		1920～30年代の文学とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		6週	日本近代文学史⑤戦後文学 ～小説は衰退したか？		戦後の文学とそれをとりまく社会・文化の様相を理解できる。		
		7週	村上春樹の小説を試しに読んでみよう。		対象となる文学作品を精読できる。		
		8週	中間試験 ここまでの内容で中間試験を行う。				
	2ndQ	9週	中間試験の返却／『羊をめぐる冒険』 ～時代背景から読む		対象となる文学作品を精読できる。		

		10週	『羊をめぐる冒険』 ～「語り」から読む 第29回漢字テスト (p106、p107)	対象となる文学作品を精読できる。
		11週	『羊をめぐる冒険』 ～歴史から読む 第30回漢字テスト (p108、p109)	対象となる文学作品を精読できる。
		12週	『羊をめぐる冒険』 ～細部から読む 第31回漢字テスト (p110、p111)	対象となる文学作品を精読できる。
		13週	『羊をめぐる冒険』 ～ポストモダンから読む 第32回漢字テスト (p112、p113)	対象となる文学作品を精読できる。
		14週	『羊をめぐる冒険』 ～「終わり」から読む	対象となる文学作品を精読できる。
		15週	期末試験 9週目からここまでの内容で期末試験を行う。	
		16週	期末試験の返却／『羊をめぐる冒険』のまとめ	ここまでで得た知見を元にこの授業について総括できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	授業への参加	漢字テスト	試験	合計
総合評価割合	10	10	80	100
基礎的能力	10	10	80	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0